



人権・同和教育だより  
第 3 号  
平成 28 年 1 1 月 1 7 日 発行

\*「HUMAN RIGHTS」(ヒューマン ライツ)

とは「人権」という意味です。

1 平成28年度後期の人権委員です。～よろしくお願ひします～

	1組	2組	3組	4組
1年	小笠原 卓也 藤原 優希	高橋 優翔 津島 礼奈	久保 貴史 高橋 弥夢	越智 美月 山内 彩有
2年	余吾 颯麻 野村 志帆	桐野 健太 青野 牙香	松本 一輝 難波江 彩花	加藤 千乃 佐伯 和沙保
3年	久米 快璃 大浦 心	田村 優弥 石原 茉奈	永田 悠馬 平塚 茉由	今井 野愛 三村 茜

なお、委員長は 2-1 余吾 颯麻君  
副委員長は 2-3 難波江 彩花さんです。

2 差別をなくす強調月間について

平成28年11月11日(金曜日)から12月10日(土曜日)までの1か月間は「差別をなくす強調月間」です。愛媛県では、同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消と人権が尊重される社会づくりに向け、この期間に各種啓発事業を実施し、県民一人一人の人権意識の高揚を図ることとしています。

この期間中に次のような日があることをご存知でしょうか。

○ 世界人権デー(せかいじんけんデー)

世界人権宣言が、1948年(昭和23年)12月10日の第3回国際連合総会で採択されたことを記念して、1950年(昭和25年)の第5回国際連合総会において、毎年12月10日に記念行事を行うことが決議された。1968年(昭和43年)以降は、5年ごとに、世界人権デーである12月10日に、国連人権賞が授与されている。

○ 「人権週間」

人権週間(じんけんしゅうかん)とは、世界人権宣言の趣旨と重要性を広く日本国民に訴えかけるとともに人権尊重思想の普及高揚を図るための週間で、1949年に法務省が制定しました。

以下に法務省による平成28年の年間強調事項を明記します。

- (1) 女性の人権を守ろう
- (2) 子どもの人権を守ろう
- (3) 高齢者の人権を守ろう
- (4) 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- (5) 同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- (6) アイヌの人々に対する理解を深めよう
- (7) 外国人の人権を尊重しよう
- (8) HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見や差別をなくそう
- (9) 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- (10) 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- (11) インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- (12) 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- (13) ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- (14) 性的指向を理由とする偏見や差別をなくそう
- (15) 性同一性障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- (16) 人身取引をなくそう
- (17) 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう



年間の人権に関する記念日や週間ををまとめてみました。

月 日	名 称
3月21日	国際人種差別撤廃デー
4月最終水曜日	国際盲導犬の日
5月14~22日	セクシュアルマイノリティを理解する週間
6月22日	らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日
7月 1日	アイヌ文化振興法試行、更生保護の日
7月16日	性同一性障害者特例法 公布/施行
9月 8日	国際識字デー
9月21日	国際平和デー(International Day of Peace)

続く

11月12～25日	女性に対する暴力をなくす運動
11月25～ 12月 1日	犯罪被害者週間
12月 1日	世界エイズ・デー
12月 3日	国際障害者デー
12月10～16日	北朝鮮人権侵害問題啓発週間

この表を見てもらうとわかると思いますが、11月～12月にかけて人権問題にかかわる日や週間が多くなっています。身近なところでも多くの行事が予定されていますので、時間のある人、関心のある人はそのような行事に参加してみてもよいかもしれませんね。

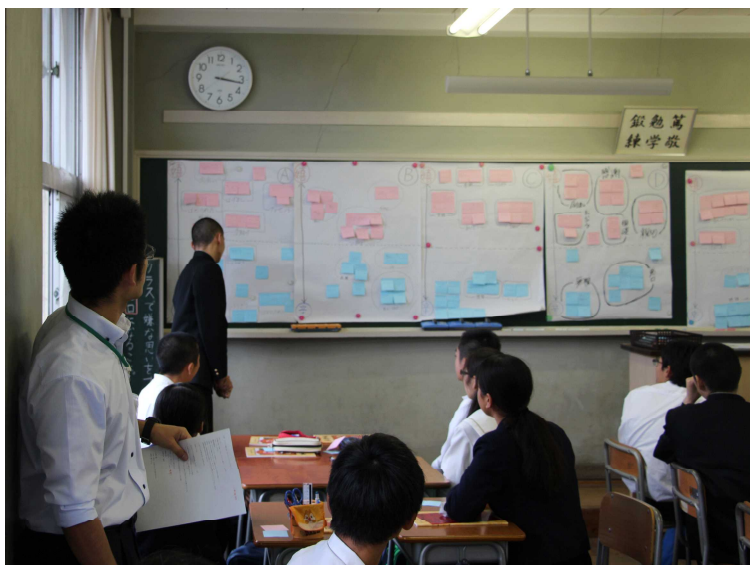
### 3 校内人権同和教育ホームルーム活動研究授業の実施について

10月21日（金曜日）の6時間目に103ホームルームで、校内人権・同和教育ホームルーム活動研究授業が実施されました。

内容はいじめ問題についての学習でした。班で、自分がされてうれしかったことやされていやだったことを話し合い、後でまとめて班毎に発表しました。

以下に一部ですがいくつか生徒の意見や感想を掲載します。

- 自分に対して一人だけから無視されたり、悪口を言われるのは耐えることができると思うが、何人から集団でされたら耐えられないかもしれない。
- 自分が落ち込んでいるときに、相談にのってくれたりすることがうれしかった。
- 自分の気の付かないところでサポートしてくれたりしたときがうれしかった。
- 自分の誕生日にサプライズでお祝いをしてくれたことがうれしかった。



## 桐木先生にインタビュー

by 303人権委員

9月下旬のある一日、理科の桐木先生にお話を伺いました。以下にその様子を掲載します。



### Q1 なぜ、理科の先生になれたかったのですか？

小学生のときに、洗った靴を外に干すと、なぜ靴が乾くのかという疑問を持ちました。このような身の周りの理科学的な現象に興味を持ち、そこから理科の面白さや、発表した時に、人に伝える魅力を感じた事がきっかけです。

### Q2 人権問題の中でもっとも関心があることは何ですか？

ネットによるいじめなどの「いじめ問題」が気になっています。いじめをする側にも心に抱えているものがあると思いますが、やはりいじめをすること自体は人としては、最低のことだと思います。また、傍観者も同様に最低だと思っています。見て見ぬ振りをするのではなく、相手が困っていれば、助けることが大切だと思います。

### Q3 人権に関する、おすすめの本、映画、歌などを教えてください？

すみません。すぐには思いつきません。しかし、皆さんが持っている『人間の輪』を熟読してみることをお勧めします。

### Q4 小松高生に対してメッセージはありますか？

MLBで3000本安打を達成したイチロー選手は、「考える労力を惜しむと、前に進むことを止めてしまうこととなります。」と言われていました。日々の授業や部活動など考える場面はたくさんあります。途中であきらめるのではなく、しっかりと悩んで自分の考えとして答えを出してもらいたいと思います。

### Q5 今、ハマっていることは何ですか？

今、8ヶ月になる息子がいるのですが、日々の変化を見るのが、とても楽しいです。冬になればウィンタースポーツのシーズンがやってくるので、子どもと一緒にできるようになればいいなと思っています。

### Q6 これだけは言いたいということは何ですか？

すぐにあきらめていないですか？あきらめたらそこで試合終了ですよ。まずは、頑張ってみる。次に自分を振り返り、その後について考える。考えることが自分の財産になると思います。

テスト期間中で大変お忙しい時期に質問に答えていただき、桐木先生ありがとうございます。